

各 位

令和6年10月10日
独立行政法人都市再生機構 アセット戦略推進部

UR Connect Project「UR賃貸住宅での「健康な暮らし」の実証」に向けた連携企業様の募集

平素は当機構の業務に多大なる御協力と御理解を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、当機構では、賃貸住宅の新たな価値創造に向けたプロジェクト「UR Connect Project ※別紙参照」に取り組んでいます。当プロジェクトの推進に向けて、令和5年4月には「民間連携事業の拡大・高度化に向けた準備会」（以下「準備会」といいます。）を設置し、現在、約70社の参画企業様との協議や実証を経て、新たな民間連携のあり方や新たなビジネスについても検討を行っております。

令和6年1月には、「準備会」参画企業様を対象とした「パートナー公募」を実施し、より柔軟な連携方策についての検討も進めてまいりました。

これらの取り組みを通じ、準備会参画企業様及び当プロジェクトの実施拠点であるUR賃貸住宅にお住まいのお客様からの健康に資するサービス等への高い関心・ニーズを踏まえ、この度、「UR賃貸住宅での健康で楽しい暮らし」を今後の注力テーマと位置づけして企業様と連携した実証実験に取り組んでまいります。

当該取り組みにおける企業様との共創に向け、当機構と連携いただける企業様を改めて募集いたしますので御検討よろしくお願いたします。

1. 募集概要

UR Connect Project 独自で収集したデータを活用し、UR賃貸住宅にお住まいのお客様の健康に資する新たなテーマにおいて、価値共創の取り組みに向けた準備会参画企業様を募集いたします。

《今後の注力テーマ》

- サービス・コンテンツ
 - ・ UR賃貸住宅にお住まいの方の健康に資するサービス・コンテンツの提供を行う企業様
 - ・ UR賃貸住宅における提供コンテンツの効果検証に関心のある企業様
- データ取得基盤（デバイス・アプリ等）
 - ・ サービス・コンテンツの効果検証に資する特定データを取得する仕組み・基盤を持つ企業様
 - ・ 自社の持つ仕組みや基盤についてUR賃貸住宅における展開・データ取得を希望し、居住者サービス向上のための活用提案が可能な企業様
- データ分析
 - ・ サービス・コンテンツの効果検証について分析・評価を行う知見を有する企業様
 - ・ 居住者サービス向上を目的としたデータ活用・ビジネスの在り方・価値創出について示唆・提案が可能な企業様

2. 「UR賃貸住宅での「健康な暮らし」の実証」について

令和6年11月以降、各企業様との協議が整い次第随時 UR Connect Project のイベント、現地拠点、LINE 等を活用し、実証実験を行ってまいります。詳細は追って御案内させていただきます。

3. 実証実験の参加、準備会の参画受付について

実証実験に御関心のある企業様におかれましては、以下のとおりお申し込み等の手続きをお願いいたします。

なお、実証実験等に要する費用分担については取り組み内容に応じて協議いたします。

《新たに準備会に参画いただける企業様》

UR 都市機構ホームページより受付要項をお読みの上、必要資料の提出をお願いいたします。

▶ 「民間連携事業の拡大・高度化に向けた準備会」参加企業様の受付について（受付要項）

<https://www.ur-net.go.jp/business/news/land/ip8i2r00000030yz-att/jyunbikaiuketukeyoukou0513.pdf>

《既に準備会参画いただいている企業様》

準備会事務局までお問合せください。

【お問合せ】

独立行政法人都市再生機構 アセット戦略推進部

UR 民間連携準備会事務局

E-mail : junbikai@ur-net.go.jp

以 上

【参考資料】

1. これまでの取り組みについて

(1) UR Connect Project 概要

- 「住」に留まらない「暮らし」の提供
- 「URに住んでいて良かった」と思える団地に

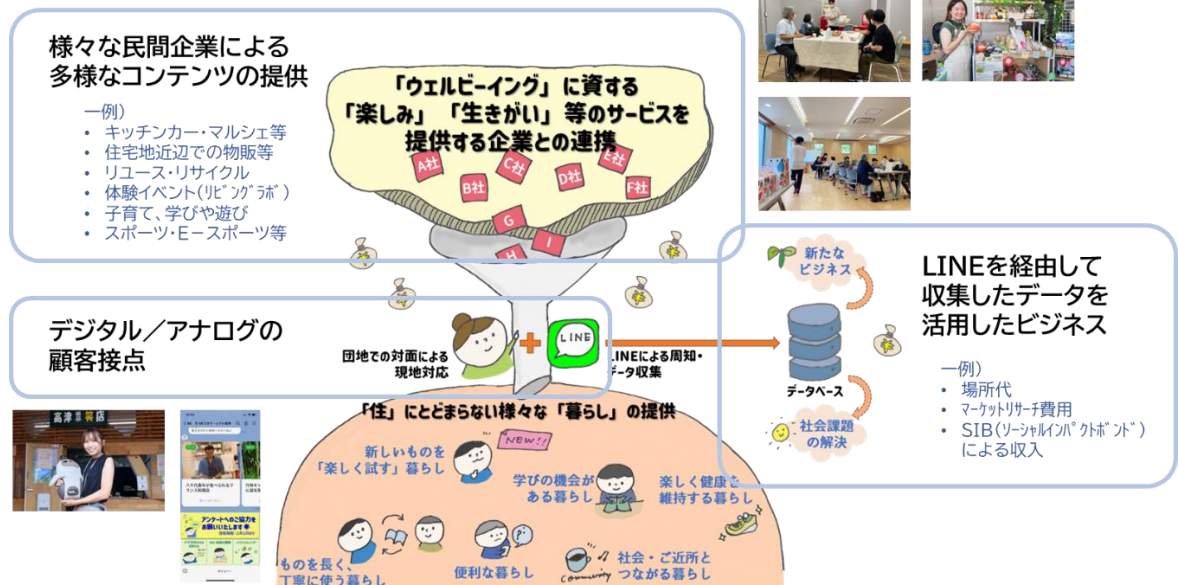
■ プロジェクトが目指す姿

「団地価値・顧客満足度の向上」と「新たなビジネス・価値共創」の両立

顧客との接点となる団地をフィールドとしたURとの共創に関心のある民間企業と連携の上、民間企業のノウハウ・サービスを活用することで実現を目指す。

■ UR賃貸住宅ならではの「強み」

商業施設等ではなく「住まいの足元」である顧客との接点・URの支援体制



(2) 民間連携の拡大・高度化に向けた検討

① 「民間連携事業の拡大・高度化に向けた準備会」について

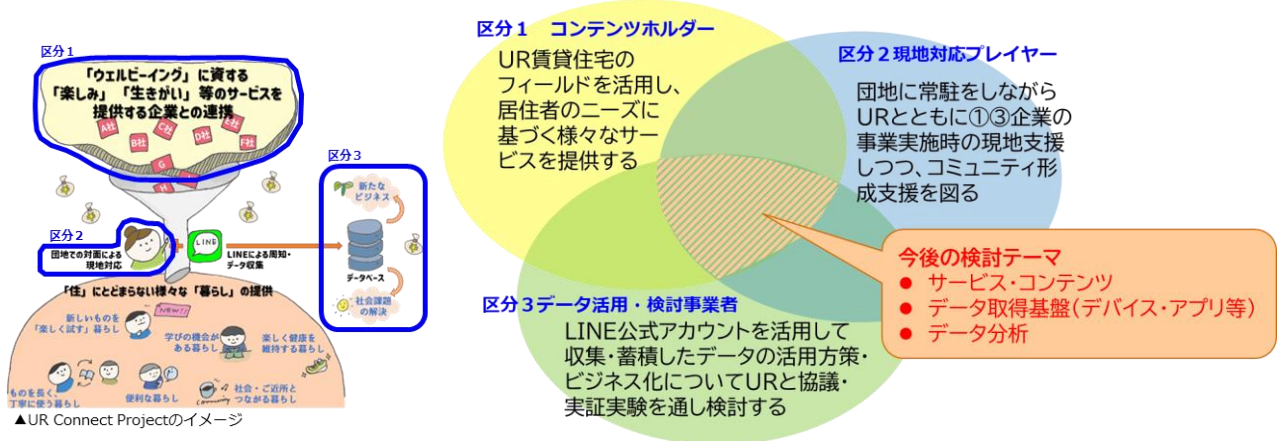
約 70 社の参画企業様とともに、企業様と新たな民間連携のあり方について協議・検討を行い、機

動的かつ持続可能な民間連携の推進体制や連携ルールを模索するほか、先行する UR Connect PJ で得られる「顧客接点」を活用し、新たなビジネス・価値の共創に向けた各種実証を行っております。

以下の3区分にて、連携企業様を募集しています。

※準備会へは 70 社が参画（2024.3 現在）

※2022～2024 年で 25 件の実証実施、現在実証に向け約 20 社と協議継続中



② 「パートナー公募」について

連携企業様とのさらなる柔軟な連携方策の検討に向けた一環として、「準備会」参画企業様を対象に、より長期間・複数団地において、両者対話の上で連携方針を協議しながらの事業推進が可能となるよう、「パートナー公募」を実施しました。現在は、選定された5社と個別に協議を実施しています。

https://www.ur-net.go.jp/aboutus/press/v8klms0000007wvx-att/ur2024_press_0117_renkei.pdf#:~:text=%E5%BF%85%E8%A6%81%E3%81%AA%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%93%E3%82%B9%E3%81%AE%E6%95%B4%E5%82%99?msoclid=0fbb4d0d435c6c2c030e580342c86df9

(3) 企業様と連携した実証の一例

お客様のニーズを踏まえ、様々な実証を行っております。民間企業様の実証実験に併せ、賑わいづくりに寄与するコンテンツを組み合わせ、より多くの層へ訴求する企画を実施しております。

取り組みにあたっては、LINE公式アカウントのサービスを活用し、周知にとどまらず、UR独自のID・データ収集による精緻な効果把握を実施しております※。実証の中で様々なデータ連携を行うことにより、新たな価値創出を目指し取り組みを行っております。

※個人情報取得していません。

団地の付加価値向上(お客様からのニーズに基づく、販わいづくりや学びの機会の提供など)



組み合わせて実施し
気軽に参加できるように

企業様との新たなビジネス・価値の共創



新商品のマーケットリサーチ
新商品の試食体験・
新しい楽しみ方の紹介



サービスの展開可能性検証
歩数・位置情報から社会参画度合を
図るアプリの体験



toC向けサービスとしての検証
AIカメラ付テレビを活用した運動
のサポートの体験

2. 「お住まいの方の健康に資するサービス・コンテンツ」の対象領域について

今回の募集における「健康に資するサービス・コンテンツ」についての対象範囲については、医療・介護等多岐にわたるヘルスケア領域の中でも「健康維持・増進」、「未病」といった、より「住まい」「暮らし」の延長線上で、UR賃貸住宅やその周辺にお住まいのお客様が気軽に楽しみながら参加が可能となる領域について、URと協議・検討を行っていただくことを想定しております。

以上